

モンテッソーリ Luce だより

2019年6月

モンテッソーリ Luce タイム担当：小山 英里佳

今年度もモンテッソーリ LUCE タイムがはじまりました。4・5月は日常生活の練習の中心に行いました。中でも指先の洗練に至る為の練習を中心に行いました。初めはなかなか上手に出来なかったお仕事も回を重ねるごとに上手に出来る様になってきましたね。これからの成長がとても楽しみです。

モンテッソーリ教育は子ども一人ひとりのやりたい気持ちを尊重します。子どもの成長が一人ひとり違うように、その時の子どもの欲求は一人ひとり違います。それを尊重し、その子に今必要なことができるように、教室にたくさん子どもサイズの教具が用意されています。たくさんの教具の中から子どもが自分でやりたいものを選び、その子が満足するまで繰り返し活動させてあげるので。針を使うお仕事など「こんなことができるのかな？」と思う様なことでも、子どもはマネっかが得意です。ゆっくりと丁寧にやり方を見せてあげることによって正しい道具の使い方を学びます。初めは上手くできなくても繰り返し行うことによってだんだんできるようになっていきます。大人が手を出して代わりにやってあげてしまうことは簡単です。でも、子どもが持っている力を信じて「1人で出来た」という経験をさせてあげることがこの時期の子どもの自立にとって大切です。教具の使い方が間違っている時にも子どもの活動を止めるようなことはせずに、子どもが自分で気づくことができるようにあとで違ったところをもう一度見せて教えてあげましょう。そうすることで、子どものやりたい気持ちを大切にすることができるのと同時に自分でできたという実感にも繋がります。また、教室にはたくさんの教具があるので親としてはたくさんの種類のお仕事に触れて欲しいと思うかもしれませんが、でも、ひとつのお仕事を繰り返し行うことも大切です。繰り返し行っているお仕事はその子にとって今成長に必要な要素が入っているのです。じっくり1つのお仕事に繰り返し取り組むことも自分を高めていくことに繋がっていきます。

今月のお仕事紹介

☆ぬいさし

対象年齢 3才半～

このお仕事は画用紙に目打ちで穴をあけ、毛糸のとじ針をつかってぬいさしを行うものです。Luce タイムに来ているお友達よりも対象年齢が少し高いお仕事ですが、ぬいさしを行う数を少なくしたものを用意したので上手にできていましたね。

小さい子が針を使うと聞くと驚かれる人もいるかもしれませんが、小さいうちから針などの大人からすると危ないと思われるものを扱う経験はとても大切です。

興味点：針が穴から出る。縫うと線が出来る。

針の扱い、目打ちの扱い。

直接目的：皮膚感覚、指先機能の洗練。

間接目的：独立心。集中力。意識的運動。

